

少子・高齢化の進展、週休2日制や学校週5日制の定着、運動不足と健康志向の高まり、地域コミュニティの希薄化など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。

市は昨年3月に「安城市スポーツ振興計画」を策定し、成人の週1回以上のスポーツ実施率を50%（平成14年度43.3%）にすることを最大の目標として施策に取り組んでいます。

スポーツにかかわる大きな柱は、「すること」、「みること」、「おしえること」、「ささえること」の4つ。日常生活の中で、市民がそれぞれの立場に応じてスポーツに親しむことを目指しています。

そして、国、県、市は、地域のスポーツ環境の整備、また、新たなスポーツ実施者拡大を目指し「総合型地域スポーツクラブの育成」を目指しています。



せっかくの休みなのに、子どももお父さんも家でごろごろ。家族で一緒にスポーツしたいなあ。



時間がないんだよね。家の近くに健康づくりをある場所があればいいんだけど。

子どもが小さいうちは、スポーツの時間がとれないなあ。



家庭で

総合型地域スポーツクラブ育成に向けて わたしたちを取り巻くスポーツ環境は？

みなさんのまわりで、

こんな声聞いたことないですか？

地域で



サッカー、野球、バスケ、トボール。町内会や子どもの会の行事もあるし、子どもの取り合いになっちゃうわ。

練習場所がないんだよね。いつも体育館が取り合いになっちゃう。



時には、勝負だけでなく、楽しむこともやってみたい。



がんばって取ったスポーツ指導者の資格。だけど、今は更新のための登録料を払っているだけ。子どもに教えるチャンスがほしい。



メンバーが年をとってしまい練習に集まらない。新しいメンバーもなかなか入らない。



昔は、運動会やおまつりがあって、子どもも大人もいっしょになっちゃったものだが。

このクラブ、みんなが入らないうえ、なんか入りづらいう。



多種目の スポーツイベント・ 健康づくり教室



自分の体力、健康に応じて、やってみたいスポーツや健康づくり教室に参加することができるクラブづくり。



指導者の 発掘と育成



地域で活動の機会が少なかった指導者の活用、県・市・体育協会が実施するスポーツ指導者養成講習会の情報提供や派遣などにより指導者を育成しその指導技術が発揮できるクラブづくり。

安城市の目指す

総合型地域スポーツクラブとは

「なぜ、総合型地域スポーツクラブなのか？」

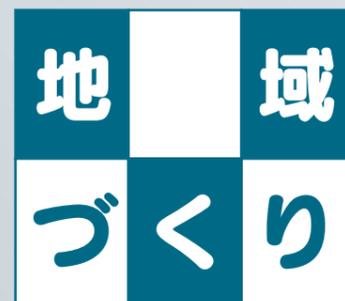
国は、いろいろな種目が用意され、地域の誰もが、年齢・技術・体力に応じて活動できる、住民の主体的な運営によるクラブとして総合型地域スポーツクラブを提唱し、現在、全国各地で誕生しています。

安城市でも、地域住民による自主的・主体的なスポーツイベントや年齢・関心に合った健康づくり教室・文化活動を通じた元気な地域づくり・クラブづくりを体育指導委員会を中心に進めていきます。

今後は、モデル地域を設定し、地域で説明会を開催しながら、町内会、子ども会、学校、高齢者団体、既存クラブなど関係者の皆さんとともに考えていきたいと思ひます。

多世代

子どもから高齢者、障害者、興味・関心度の違う人など、それぞれの目的の合う人が一緒になって、継続的に活動できるクラブづくり。



地域住民自らが運営に参加し、役割を担うクラブづくり。

自主運営 と 役割分担

文化活動

スポーツに限らず、地区公民館まつりなどの文化活動も取り入れるクラブづくり。

地域の公共施設・学校施設などを活動拠点として利用し、さまざまなスポーツや文化活動が効率的に利用できるクラブづくり。

受益者 負担

地域住民の皆さんの参加料など(受益者負担)と町内会や行政の支援で運営していくクラブづくり。

施設利用

健康づくり・文化活動を含め
地域社会に根ざした
わたしたちのスポーツクラブを